

令和８年度鳥取市介護予防運動教室事業実施業務委託公募型プロポーザル募集に係る質問回答
（令和8年9月11日掲載 鳥取市福祉部長寿社会課鳥取市中央包括支援センター）

No.	質問事項	回答
1	提出書類・イ・企画提案書（様式第４号）が、Wordで作成されていますが、PowerPointやCanvaなど別のソフトで作成・提出をさせていただいてもよろしいでしょうか。	様式の作成にあたっては、実施要領の内容に沿った形であれば、使用するソフトは問いません。様式に記載されている内容の変更がなければ、PowerPointでの作成でも問題ございません。
2	令和８年１０月６日に行われる審査・プレゼンテーションに参加できる人数は決まっていますでしょうか。	参加人数は、企画提案書の内容が説明できる者を含めて３名以内としてください。
3	実施要項・２・業務の概要（５）提案金額の上限 ６）事務費（送迎関連費）ですが、教室運営に係るすべての経費（燃料費・保険料・点検費・税金等）を含む積算でよろしいでしょうか。	教室運営のための送迎にかかるすべての経費を含めます。ただし、他の事業でも使用する車両の維持費等は按分して計上してください。
4	「最も優れた事業者」と記載されておりますが、優れた提案を行った事業者が複数存在した場合は、その複数の事業者による分割受託（例：圏域のA会場はJ社・B会場はK社、またはC圏域はL社、D圏域はM社等）を検討できないか、お尋ね致します。質問本文は、以下の通り。） 本事業は一般介護予防事業であり、広く市民全体へ介護予防を普及啓発することが重要な目的の１つであると認識しております。鳥取市内には10か所の地域包括支援センター圏域が存在し、各圏域に2～4か所前後の会場が設定されていますが、市民の皆様への"浸透度"や"参加率"を高めるためには、同じ圏域内に多様な選択肢を作る観点から、会場毎に事業者を分けるなどの分割委託も有効な視点ではないかと感じております。 評価基準を満たした複数の事業者に分割委託（例：圏域のA会場はJ社・B会場はK社、またはC圏域はL社、D圏域はM社等）を行うことで、以下のような視点が広がると考えられます。 1.「普及啓発の拡大」と市民の選択肢の広がり 一様のプログラム提供ではなく、多様な事業所の強み（専門職による視点や集団指導、介護予防に特化した独自のプログラム、安全送迎体制等）を活かした教室運営が成されることにより、創意工夫がなされこれまで従来の教室では参加に至らなかった層や多様なニーズ（痛みや不調を抱える高齢者等）に応えることが可能になる等、より広く必要な方へ介護予防の視点や実践を届けられる可能性が高まります。 2.各事業者の特色を活かす 介護予防事業は、運動や栄養、口腔など様々な組み合わせでの学習や実践が有効と認識しております。ただ、フレイルのように運動器フレイルや認知的フレイルなどそれぞれ対象者によって特徴があります。複数の事業者で教室運営を行うと、事業所の特性や特色を活かした「運動機能ウエイト型」や「認知機能ウエイト型」など、対象者の視野や選択肢が広がります。 3.大規模事業（55教室・30会場）における事業継続性（BCP）の確立 令和9年度以降、50教室を超える教室数が見込まれています。複数事業者が関わっていることで、非常時や急な人員変動時においても事業者間での相互補完・バックアップが機能し、市全体で事業が停滞するリスクを回避できます。 つきましては、上記視点を踏まえ、複数事業者による分割受託の必要性についてご見解をお聞かせください。合わせて、分割受託の可能性についてお尋ねいたします。	この度のプロポーザルにおいては、分割受託の予定はありません。 この事業では市内高齢者を対象として介護予防に取り組んでいただくことを目的としています。一事業所に依頼することで、市内全域で同じ水準のプログラムを提供できるため、地域による格差が生じにくいと考えます。 一方で、ご意見のとおり複数の事業所に委託することによる利点はあると考えます。介護予防の取り組みをより充実させるうえで有効な視点ですので、今後の事業展開の参考にしてまいります。

5	仕様書にある「高齢者自身が介護予防活動に取り組み、地域での主体的、継続的活動を継続できるよう支援する」という基本方針を深く理解し、創意工夫を行い本事業に取り組みたいと考えております。そこで、以下の点についてお尋ね致します。 1. 本事業の課題および改善点について これまでの事業運営における課題や、今後改善・向上を図っていききたいと考えておられる点についてお聞かせください。 2. 仕様書へのニーズ・意見反映について 今回の仕様書策定にあたり、「鳥取市の高齢者」や「各地域包括支援センター等の介護予防連携機関」からの意見やニーズをどのように把握し、仕様書へ反映されたかについてもお教えいただけますと幸いです。 3. 実績指標の現状および目標値について 高齢者自身への主体的及び継続的な取り組みを支援した結果、「セルフケアの習得率」はどのような成果が得られたか。また介護予防の視点から「介護保険サービスへの移行率」、そして広く市民に介護予防を促す観点から「新規利用者の普及拡大率」についてわかる範囲でご教授ください。	正確な数値の提示は差し控えますが、本事業の利用者は固定化しつつあるため、セルフケアの習得率や新規利用者の普及拡大に影響が出ている可能性があります。 また、仕様書は、本市の介護保険計画の目標達成を目的に作成しております。提案にあたっては、仕様書の基本方針や内容をご確認いただいたうえで、前段の内容に限らず、ニーズの把握方法や提案者が日頃から認識されている課題への対策も含め、本事業の推進に資すると考える内容を幅広くご提案ください。
---	---	--